



ニュースリリース

(公財)さっぽろ青少年女性活動協会
こども育成課
～街とともに 未来を育む 人づくり～

『パラスポーツを知ろう！』



車いすラグビーから多様性への一歩を始めよう

札幌市児童会館・ミニ児童会館を管理運営している(公財)さっぽろ青少年女性活動協会こども育成課では、子どもたちが直接的な体験を通じて、学びを得る機会を大切にしています。今回は、子どもたちが多様性と共生社会を考える機会として実施しましたパラスポーツワークショップ「パラスポーツを知ろう！」(札幌市東月寒児童会館主催)の様子をお伝えします。



実際に競技用車に乗り、日向選手と一緒に体育室を駆け回ります。

6月6日に札幌市東月寒児童会館にて、元児童クラブ保護者であり、「パラスポーツすごろく」の制作に携わり普及に努めている大海恵聖氏をコーディネーターとしてむかえ実施しました。

ゲストの車いすラグビー日本代表強化指定選手 日向顕寛氏(所属 RIZE CHIBA)からは、ケガから車いす生活となり、選手に至るまでの道のりのお話や、車いすラグビー体験のレクチャーをしていただきました。子どもたちは、困難さを抱えながらも一流のスポーツ選手として活躍する力強さ、そして前向きな姿勢を心と体で受け止め、思いを巡らせていました。



大同舗道株式会社の皆さんが子どもたちの車いす乗降を行います。

今回の体験が子どもたちにとって心の垣根をなくし、多様性と共生社会への一歩を踏み出していくことを期待しています。

このワークショップは、他館での開催も計画しています。今回頂きました「パラスポーツすごろく」は全館に寄贈される予定です。

なお、この「パラスポーツを知ろう！」事業は、主旨に賛同し大同舗道株式会社地域奉獻活動の一貫としてサポートしています。

(公財)さっぽろ青少年女性活動協会こども育成課では、事業、日常活動を通じて「よりよい社会の実現」へ取り組んでいます。この描く未来はSDGs(継続可能な開発目標)がめざすものと重なります。その達成にむけては「つながり」が大切であると考えます。児童会館は地域の活動拠点として思いを結びつけ構築していきます。

SDGsへの取り組みについてはHPIに掲載しております。

こちらQRコードよりご覧ください。



<(公財)さっぽろ青少年女性活動協会>

札幌市児童会館、ミニ児童会館をはじめ、こどもの劇場やまびこ座・こども人形劇場こぐま座、若者活動センター・若者支援総合センター、青少年山の家、定山溪自然の村、北方自然教育園、千歳市児童館・学童クラブの管理運営をとおり、「人とのかつがりによる魅力あふれる未来社会の創造」を実現していきます。

<本件に関するお問い合わせ先>

こども育成課 担当 細川 ikuseika-release@syaa.jp TEL011-671-4121
(公財)さっぽろ青少年女性活動協会 〒063-0051 札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10
<HPアドレス> <http://g-kan.syaa.jp>

